

# 29年6月 ひびき動物病院 かわらばん



## まだまだここから

こんにちは。岡田響です。

早いもので、今月で開院してから満10年となりました。なんとかやってこれているのも、いつも支えていただいている皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

狂犬病注射のこの時期には、いつものみんなに会えるチャンスで元気かな？とワクワクする時期だったりします。でも、10年前から来ている子は元気に白髪が増えてきたりしている子もいれば、もうこれなくなってしまった子もあり、複雑な思いにもかられます。

専門分野だけの病院とは違い、幼い子も、中高年になった子も、健康な子も、病気の子も、みんなに関わっていくことが町の動物病院の役目だと思っています。専門分野は、何もなによりはあった方がいいのかもかもしれませんが、全体的に見れば、この10年は強く求められるものではありませんでした。また、必要と思われる時には専門病院を紹介していますが、そればかりを求める方もそれほど多くはありませんでした。

小さな病院ですが、日々様々なことがあります。動物のため、動物の家族のため、世の中のために私にできることはどういうことなのだろうか？と思って日々仕事と向き合ってきました。そこから次の10年へ、と考えると、やはり

「初心を忘れず、新しい時代の街の動物病院」を考え続け、実践し続ける。

ということになりました。

これから、「(いつも動物と安心して一緒に暮らしせる)楽しいペットライフ」とそのための「ペットに優しい(なるべく負担をかけずに効果を引き出す)動物医療」をペットと家族に寄り添って、みんなで創造し続けていけるような動物病院をつくれるように、前進を続けていこうと思います。

くどい表現となりましたが、

ペットを飼うことで、ハッピーになれる方が増えてくれれば最高です。

どうぞよろしく願いいたします。

## 写真撮影会

イベントを企画しました。

自分が一番やってみたかった(自分のペットの写真が欲しかった)ので、どうせならみんなでやりたいなと思ったのです。

ところが、問題が出てしまいました。

声かけを始めて3日もしないうちに、あっという間に満員に。。。

大変申し訳ございませんが、今回は3日間で締め切らせていただきました。

大変になりそうと緊張もしますが、みなさんと楽しみたいと思います。

お誘い届かなかった方、また別の機会にどうぞよろしく願いいたします。。。

## 病院のネコは毛玉便がまだ出ます

毛の抜ける季節がまだ少し続いていますね。毛を吐いたりしている子が少なくありません。

しかし、イヌもネコも通常は1月に1回とか2回とかでもコンスタントに吐いたりすることはありません。

ところが、

「毎日吐いてます。この子はこれが普通みたいで。でもごはん食べないんです。なんででしょう？」

って言われてしまう事があります。毎日吐くのは病気のサインです。

確かに毛玉を吐くこともあるのですが、毎日はおかしいです。ごはん食べないのはきっと吐いていることと関連があります。

「三臓器炎」という、ネコさんに多い病気があります。肝臓（胆管肝炎）、膵臓（膵炎）、十二指腸（腸炎）の三臓器がトラブルになる病気です。十二指腸につながる肝臓と膵臓が、腸を逆流してくる「嘔吐物」によって、細菌が逆流してくることで発生する、などと言われています。

毛玉や吐き癖のある子ですと、こういうトラブルが起こりやすいのです。

もしも肝炎や膵炎となれば、多くの場合入院になります。

吐き癖は、原因の追究が必要です。

イヌやネコにも胃潰瘍や慢性胃炎などもありますし、毛玉が原因であれば、毛のお手入れと、毛玉対策の食事やサプリが第一選択です。上記の理由から、ネコ草が一番のお勧めにはなりません。毛は出せた方が楽になるでしょうから、頻度や毛の排出量（飲み込む量）に注目する必要がありますね。あってもいいものかもしれませんが、週に1回以上の頻度ではお薬が必要です。1日3回以上の吐気では脱水になりますので、点滴する目安にしています。食事の変更でよくなるケースや、お薬が減らせるケースもあります。

いずれにしても吐気は弱っていくきっかけになりやすいですので、

連日になる場合は早めにお連れ下さい。

## お知らせ

院長・スタッフともに、パワーアップのための研修をもう少しこなしていきたいと思っております。とくに院長は色んな視野・視点を持つ必要性があります。

しかし、そのためには病院を閉める時間を増やさないとできません。

6月から早速予定があり、多少変則的な日もあります。なるべくご迷惑をおかけしないようにと思っておりますが、ご理解・ご協力よろしく願いいたします。

詳細はホームページでもご確認下さい。

